

コース・講師紹介

コース① 思春期の子どもの心理と親子関係～反抗と従順と衝動的な行為を巡って～

吉田圭吾 教授 (神戸大学大学院人間発達環境学研究科)



私はスクールカウンセラーとして20年間、幼稚園から大学生までの子どもの悩みに寄り添ってきました。友人関係、親子関係、将来の悩み、恋愛問題などの悩みを抱え、不登校、リスカ、希死念慮、他害衝動を抱え、不安に生きている子どもたちに何が 필요한のか、どのように自己表現を育てたらいいのか、一緒に考えてみましょう。人生とは何か、生きるとは何か、親子とは何か考えてみましょう。

コース② 子どもの「こころ」とイメージ～イメージを通じて表現される「こころ」について～

伊藤俊樹 准教授 (神戸大学大学院人間発達環境学研究科)



私は、カウンセラーとしてアートセラピーをやっています。アートで中心となるのはイメージです。イメージは、悩みを持った方々だけでなく、自分の「こころ」を言葉ではうまく表現できない子どもの「こころ」を理解する上で欠かせないものです。子どもの遊びや、夢、子どもが語るお話しなどのイメージの中に、どのように子どもの「こころ」が表現されるか、具体的な例をあげながら考えたいと思っています。子どもさんを理解する一つの視点を知って頂ければと思います。

コース③ 乳幼児期の親子関係と心の絆 ～ベビーサインでコミュニケーション！～

河崎佳子 教授 (神戸大学大学院人間発達環境学研究科)



人生のはじまりにママやパパとの間で体験するコミュニケーションは、健やかな愛着形成、その後の対人関係～人とかわかり合う能力の発達～につながっていきます。“愛着”って何？ どうやって生まれるの？ なぜ大切なの？ そんな話をしながら、ベビーサインを紹介したいと思います。ぜひ小さなお子さんといっしょに参加してください。
← と ぽー でおしゃべりしましょう！

コース④ 思春期の子どもの傷つきやすさに寄り添う～子どもの心の育ちの観点から～

相澤直樹 准教授 (神戸大学大学院人間発達環境学研究科)



児童期や思春期に傷つきやすさや不安を抱える子どもたちは決して少なくありません。そのような子どもは学校や家庭でもあまり目立ちませんが、実は『不登校・引きこもり・対人不安』などの心のトラブルに結びつくことがあります。当日は心の育ちの観点から子どもの傷つきやすさについて一緒に考えていければと思っています。不登校、引きこもり、引っ込み思案などにご関心のある保護者の方々のご参加をお待ちしています。

参加者へのお願い

- 会場には、子どもたちを遊ばせるスペースはありますが、託児はおこないません。お子様については、各保護者の方が責任をもって見ていただくようお願い致します。
- 各コース定員（先着25名）に達した場合には、受付を終了いたします。受講可能な方には、追ってメールにてご連絡差し上げます。また、キャンセルの場合にはできるだけ早めにご連絡ください。

